

下野市吉田地区の高齢化が進む地域を「田舎の風景」でにぎわいを取り戻そうと、地元のイチゴ園経営者や建築家などがプロジェクトを始めた。農協支所の跡地に残る石蔵を商業施設にして、人が集まる場所とすることを目指しており、メンバーらは「同様の跡地は全国にある。地域再生の新しいモデルになれば」と意気込んでいる。

プロジェクトの舞台は、9年前に統廃合でなくなったJAうつのみや吉田支所の跡地約5000平方メートル。築約80年の石蔵2棟（計約500平方メートル）も残っており、現在は下野市が倉庫と

小山高専生が作った建築模型の前で跡地の再生を話し合う伊沢さん（右から2人目）ら（9日、下野市本吉田で）



商業施設に再生